
ジローとしりとり

walter

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ジローとしりとり

【コード】

N6851K

【作者名】

Walter

【あらすじ】

これはとある家で行われる人間と雪だるまのしりどりの模様です。

これはどこかの一軒家で起こるひとりの人間とひとり(?)の雪だるまの話である。

「なあ、リュウ」

「なんだ？ジロー」

はじめまして。僕の名前はリュウ、みんなからはそう呼ばれています。ちょっと不思議な生活をしている普通の高校生です。

そして僕の目の前に寝っ転がっている雪だるまの名前はジロー。なんで動くのか分かりませんが、実害がないので居候させています。さて、今は日曜の昼下がりに。ジローと家の中でゴロゴロしていると、ジローが僕に話しかけてきた。ろくでもないことに違いない。

「暇だからさ、しりとりやろうぜ」

「……」

ほら、ろくでもない。でも実際暇だから付き合っただけか…僕はカバンから教科書とノートを取り出し自分の机に向かう。

…えっ？しりとりはやらないのか？ちゃんとやりますよ。しりとりも。

「是非、と言いたところだが、生憎僕には宿題があるんでね。暇つぶしなら一人でやれ」

「……」

ジローは何か気付いたようだ。ある意味当然。これぐらい気づけ

なくてはこの家の居候失格だ。

「練習問題ばかりやって、何か意味はあるのかい？」

「いつでも続けてやることに意味があるんだよ、ジロー」

「ろくでもないことばかりやってんな、人間は」

ろくでもないのはお前の頭だ、雪だるま、と言いかけたがなんとか押し止めた。だって負けるの嫌だからね。

「忘れないうちに復習するのが普通の成績を保つ秘訣だよ」

「よ…良くやるね。」

「年がら年中家の中でゴロゴロしているお前では出来ないこと」「と？と、と……トイレ行ってきまーす」

…逃げたか…

まあいいや、今回も僕の勝ちだったな。

本格的に勉強を始めようとすると、ジローが部屋に飛び込んできた。

「すぐリベンジだ！リュウ。」

……びっしっ！

そんな音がでそうなくらいの勢いで僕を指差した。

……おや？人に指をさしてはいけない、って教えてなかったっけ…

「…スマン、ジロー。そろそろやめにしようか、このしりとり」「…了解。」

全然了解してねえじゃねえか！

「いや、だからやめよって…」

「て言うリユウも出来てないよ。」

「あっ…」

今日もこんな感じで休日を通していくのでありました…

(後書き)

途中分かりづらいたは思いますが、どうか見逃してください(汗)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6851k/>

ジローとしりとり

2010年10月25日02時01分発行